

日身ア連 第 19 号

2020年12月31日

関 係 各 位

一般社団法人日本身体障害者アーチェリー連盟

会長 橋本 和典

(公印省略)

2021年強化指定選手の決定方法及び

東京2020パラリンピックアーチェリー大会選手選考会（開催国枠）について

拝啓 時下ますますご健勝のことお喜び申し上げます。

当連盟の事業につきましては、日ごろ格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響により、東京2020パラリンピック競技大会をはじめとする多くの国際大会、ならびに国内各地で予定されていた全日本アーチェリー連盟公認競技会、当連盟主催・後援大会が、軒並み中止または延期となっています。

当連盟としては、選手選考の基盤となる公認記録の公平なあり方に支障が生じていることから、理事会において協議した結果、標記の件については下記の通りとすることになりましたので、お知らせいたします。

なお、何かご不明な点などありましたら、当連盟ホームページ「お問い合わせフォーム」(<https://nisshinaren.jp/contact>)にて、ご連絡いただければ幸いです。

敬 具

記

1 「2021年強化指定選手」の決定方法について

2021年強化指定選手は、①2019年世界選手権大会（オランダ大会）で出場枠を獲得し、東京パラリンピック日本代表候補選手として既に「内定維持」となっている選手^(注1)及び②「2020年強化指定選手」として指定された選手とします。

2 東京2020パラリンピックアーチェリー大会選手選考会（開催国枠の割り振り）

開催国枠^(注2)については、2021年強化指定選手のうち「内定維持」となっている選手を除く強化指定選手、及び追加選手^(注3)の中から、2021年3月26日（金）～28日（日）に当連盟が実施する選手選考会の結果によって該当選手に割り振るものとします。詳細は別途通知します。

注1) 「内定維持」となっている選手とは、当連盟が日本パラリンピック委員会に対して2020東京パラリンピック日本代表候補選手として推薦することが決定している選手のことを指す。現在、4名の選手が「内定維持」（男子リカーブ1名、女子リカーブ1名、男子W1・1名、女子W1・1名）となっている。

注2) 開催国枠は3枠（男子リカーブ1名、男子コンパウンド1名、女子コンパウンド1名）となっている。

注3) 当連盟は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況や2019年度の国内外の大会における公認記録に鑑みて、各種目につき最大1名の追加選手枠を設ける場合があります。